



を開始した時に午前三時四十分である

退路を絶たれた敵匪

永安臺に逆襲す

我方の猛射に敵匪は午前四時ごろ勢ひ衰へ後退せんとしたがこの折は早わが警備隊の間に挟まれて前後より猛射を受けたため敵は老虎臺の東方、萬達屋に向つて敗走したが同地もわが警備嚴重で到底切抜け得べくもなく遂に血迷つた敵匪百數十名は同二十五分夜明間近にも係はらず再び方向を轉じて我が満鐵社宅町永安臺に向つて最後の突撃を試みるかの姿勢に出たので附屬地警備の撫順警察署では前田署長を先頭に署内に待機中の全員を招集して二手に分かれてこれを喰止むべく永安臺の守備に向かつた

鐵道爆破

危うく免れる

敵匪別●隊は奉撫線の両側にある電信電話線を切斷して奉天との連絡を絶つと共に救援列車爆破の計畫畫の下に奉天●る四十四キロの地點に爆發薬を装置しなほ鐵橋に油を注ぎ焼き落さんとして居たのを保線區員が発見し未然に取はつたので幸ひに事なきを得た

秦撫間の

電線切斷

午前二時五十分敵匪の襲撃最も猛烈なる頃奉撫は右に敵匪を受けながら全く通信機關を失つたが右は敵匪鐵道隊の所爲に

